図書館友の会 けやき ニュースレター



48号 2015. 8. 6

◇報告 学校へ発信する 図書館

◇Report けやき総会・図 書館懇談会・ボランティア 交流会

◇Topics えほんのひろば inきょうと/講演会

報告

学校へ発信する図書館

京都市図書館の新たな読書支援活動から

左京図書館では、昨年度「中学校読書活動推進モデル図書館」として様々な取り組みが 行われた。けやきは、以前よりヤングアダルトサービスの充実を要望してきたが、さら なる充実と広がりを願って、この事業について左京図書館長に紹介して頂く。 また昨年誕生した学校向けの図書館車「青い鳥号」についてもレポートする。

左京図書館における中学生に向けた読書活動支援事業 左京図書館長 古川 勝英

京都市図書館では昨年度、新たな取組として「中学校読書活動推進モデル図書館事業」を実施することとなり、モデル図書館4館のうちの1館に左京図書館が指定されました。この事業は、小学校時代に比べて読書離れが進む傾向にある中学生に向けた「読書機会の提供」「読書環境の充実」を進め、将来につながる読書習慣を身に着けてもらうために、モデル図書館が支援策や取組等について研究・実践を行い、その成果を京都市図書館全体で共有・活用していくことを目指すものです。

当館ではまず、中学生の読書状況や読書環境、学校図 書館の現状等を知るため,京都市立下鴨中学校に協力 をお願いし、お話しを伺いました。下鴨中では、朝読 書やビブリオバトルなどに積極的に取り組んでおられ、 本に関心のある生徒は多く、学校図書館の利用も多い とのことでしたが、「中学生になると何かと忙しくな るので、様々な本の情報に接する機会が持ちにくい。 学校図書館で紹介できる本の数にも限界がある」など の悩みもお持ちのようでした。そこで、本の情報や図 書館のことを生徒の皆さんに知ってもらう取組として、 図書館新聞『TEEN'S BOOK LETTER』(写真参照) を発行し, 定期的にお届けることにしました。当初 は、A3サイズ1枚に、図書館が中学生におすすめする 本や中学生が実際に読んでみてよかった本などを数冊 程度掲載していく予定でしたが、下鴨中の生徒の皆さ んから、おすすめ本のコメントを50通以上もいただ き、定期版に加えて、本年3月と7月には、生徒さんのコメントを中心に編集した「スペシャル版」を発行させていただくことができました。

さらにより多くの中学生に『TEEN'S BOOK LETTER』を見ていただきたいと考え、今年度からは同じ左京区にある岩倉図書館と共同発行とするとともに、左京区の中学校長会にお願いして区内全中学校で活用いただけることとなりました。

併せて下鴨中では、図書館が中学生に読んでもらいたい本を50冊程度選定して学校図書館で展示・閲覧してもらうという取組も行っています。これは、本の情報だけでなく、実際に手に取ってもらうことで伝わるも

のがあるとの思いから実施している取組です。

ている取組です。



上させることができました。

中学校時代は,読書習慣を身に着け、その定着を図っていくために本当に大切な時期です。左京図書館では,,

子どもたちの読書活動支援のため、今後も積極的に取組 を進めて参りますので、ご協力ご支援をお願い申し上げ ます。

京都市図書館「青い鳥号」が学校へ

昨年、京都市図書館に主に学校向けの図書館車が誕生 したと聞き、7月13日、担当の京都市教育委員会事務局 生涯学習部施設運営担当図書館担当課長 山内卓氏に詳 しいお話を伺ってきました。

車の愛称は「青い鳥号」、軽ワゴンの後部座席に書架 2連を搭載し、最大200冊の本を積んで、保育所や幼稚 園、小中学校などに出張し、図書館司書によるブックト ークなどの行事とともに出前貸出を行うなど、子どもた



青い鳥号(写真提供・京都市図書館)

ちが本に触れ合える機 会の提供を目的に導入 されました。車体の愛 らしいイラストは、京 都市立銅駝美術工芸 高校の生徒さんによ るものです。

2014年11月中旬か

ら運用が始まり、昨年度は、中京区・山科区・東山区などの小中学校や、植物園、児童館、病院、PTAフェスティバルなどへ36回出動、ブックトークや読み聞かせ、出前貸出、関連図書の展示等を実施。主に児童生徒が対象ですが、病院で高齢者の方に絵本の読み聞かせ等を行ったり、児童館の幼児向け行事への出動もあり、いずれの出張先でも大好評だったそうです。

「青い鳥号」に来てもらうには、まず、希望する学校などが、最寄りの京都市図書館に、出動について相談します。その上で、搭載する図書、行事や出前貸出の有無などについて詳しい打ち合わせを行い「青い鳥号」は派遣されます。現在京都市図書館では、学校などへ向けて「青い鳥号」の宣伝チラシを作成中とのことです。今後「青い鳥号」が十分な職員体制のもとで広く活用され、ぜひ子どもたちに読書の喜びを伝える「青い鳥」となって欲しいものです。 (永井)

けやきの 本棚 48 私の おすすめの 本

キャプテンがんばる キャプテンシリーズ3 後藤竜二作 杉浦範茂絵 講談社 1988年

ぼくは野球が大すきだ。この本をすすめられた時、タイトルにひかれた。どらねこ横町の少年野球チーム「ブラックキャット」はとても弱かった。だらけたチームにあきれて、5、6年生が4人やめた。でも「キャプテン」の友だち・ひでじをピッチャーにむかえ、一どはやめた吉野くんをよびもどした。夏の大会の1回せんをかつと…。 (小3・櫂)

愛、深き淵より。

筆をくわえて綴った命の記録

星野富弘著 立風書房 1981年

中学校の体育教師となってわずか2ヶ月後、クラブ活動の 指導中に頸髄損傷し、肩から下がすべて麻痺という障害を負 います。不自由な入院生活の中で、わずかに動かすことので きる口に筆をくわえて、花の絵と詩を描くようになる闘病の 記録です。星野富弘さんの詩画は、どんな境遇の時にも訪れ る幸せや希望の力強さにあふれ、優しさに満ちています。

(左京図書館・前田淳子)

あやつられ文楽鑑賞

三浦しをん著 双葉文庫 双葉社 2011年

若手人気作家による文楽=人形浄瑠璃に纏わるエッセイ集。独特の軽い語り口で読みやすいが、演者へのインタビュー、観劇記、楽屋や劇場・芝居小屋への訪問記から歌舞伎や落語にも話は及び、非常に中身は濃い。演者や演目についての解説や舞台・人形遣いなどの図も付され、恰好の文楽入門書。 (会員・高野・M・N)

民主主義 文部省著作教科書

文部省著作 径書房 1995年

この本は、戦後日本国憲法が施行された翌年の1948年から1953年まで、中学と高校で実際に使われた教科書の復刻版です。書いたのは文部省。言葉では誰もが知っている「民主主義」について様々な面から考察されており、その重要性を訴える熱意に打たれます。投票年齢がさがったいま、若者にはどうしても読んで欲しい。 (KK)

TOPICS

左京図書館 子ども読書の日記念事業から

◆この2年は参加者の減少が悩みの種、今年度は、けやき事務局会議や絵本学習会、図書館とのミーティングの 折などに、より多くの方に参加してもらえる手立てはないかと、早い時期から議論を重ねました。

会場を図書館内にする案も出ましたが、いろいろ検討した結果、会場は従来通りで、次のような取り組みを行いました。目を惹くチラシ(伊藤理恵子さんデザイン)を各方面に配布するなど、広報に力を入れる。会場に子どもたちが喜ぶ隠れ家的なものを配置したり折り紙などで飾り付けをし、ワクワク楽しい雰囲気をつくる。図書館から3階の会場への誘導を工夫する。工作コーナーを設け、その関連本も置く。

それらの効果もあって、当日は多数の方が来場してくださり、大盛況でした。その様子は以下のスタッフの報告で。 (永井)

◆今年は準備段階より力が入り、絵本の整理や工作の準備、そして会場に工夫を重ねて、みなさんに楽しく読んで頂けるようにしました。図書館から会場までのアプローチを分かりやすくするため、動物の足跡の絵を貼りました。

えほんのひろば in きょうと 4月19日

当日、『ひろば』がスタートすると、小さいお子さん 連れのお母さん達が次々に来られ、一家勢ぞろいで来て くださった家族も何組もありました。

テントの中に入り夢中で絵本を読む子どもや、工作に 夢中な子ども、気付くと、お母さん達だけで読み手を囲 んで絵本の読み聞かせをしてもらっていました!忘れら れない風景です。

絵本『へんしんトンネル』を読んであげると、子ども達は「ワッハハ」と大盛り上がり!上手く読める時とそうでない時もありますが、この本にきめてよかったぁとホッとしました。絵本『なわとびしましょ』では、次に誰が跳ぶのだろう~と思いながら読んでいくと、「あ!このページに雲の絵が!」。子どもは細かく見ているんだなぁと感心しました。

読み手スタッフの私までとっても満喫出来た、えほんの、まさに『ひろば』でした!

ご参加下さった皆さま、ありがとうございました! (左京図書館絵本学習会 レウナキ・マイラ)

けやき・左京図書館共催 講演会 元禄時代の歌舞伎―名優の登場― 5月23日

大好評の前回に続き、今回は歌舞伎の興隆について、 同志社女子大の廣瀬千紗子先生から、多くの資料を提示 していただきながらお話を伺いました。

お国から興った歌舞伎ですが初期にいた女性も風紀上 の理由で幕府に排除され、元禄の時代には、代わりに若 衆(わかしゅ)という美少年たちが人気を博していまし た。その後、嗜好が容色好みから演技の重視へと変遷し ていくにつれ見巧者による芸評が起こります。「役者評 判記」には「大上上吉 中村富十郎、上上吉…」と役者 が芸の善し悪しで細かく位付けされているのが見てとれ ます。この公正な批評によってドラマ自体が進化しより 深まっていくことにもなりました。このように舞台事を 狂言本「あらすじ」、顔見世「評判」、番付「記録」と いった本として出版したのが書肆八文字屋。舞台の挿絵 もあり再生機器のなかった時代の貴重な資料です。本は 多くの人々の関心を引き、情報の蓄積が役者の伝記とな り、歌舞伎界を押し上げていく役割をしたといい、しか もその定期刊行物はじつに1699年初版から江戸終りま で200年間続いたというのですから驚きです。

当時の版元の力はたいへん大きく、次に役者、今私達が知るところの近松門左衛門など作者の社会的地位は意外に低く、作者名を出すことをしぶられたとかいう近松の話もあったそうです。

最後に、初代坂田藤十郎の芸談『耳塵集』から、演技 のコツを精読してくださいました。

「身ぶりはこゝろのあまり」(こころのあまりとして 自然に身にあらわれる)

「狂言は常を手本と思ふ」(せりふは稽古でよく覚えておいて初日はすっかり忘れて舞台に出る、相手のせりふを聞きその場で思い出して返答する、自然なやりとりは日常をまね、作っているところは見せない)

「役者の藝は乞食袋」(何でも拾って歩け)

300年前の名優の御言葉には、会場一同、うーむと感 嘆の声をあげるばかりでした。

つい先日入手したとおっしゃる古い和綴じの資料を間近に見せて下さり、遠き元禄歌舞伎の魅力を今に熱く伝えていただきました。 (松田)

■ 2015年度 R E 活動テーマ

全国の図書館のあり方に関わる情報を収集しつつ、 京都の図書館が利用者にとって一層素晴らしいものとなるよう、 協力・要望活動をおこなう

P 0

R T 図書館友の会けやき総会・図書館懇談会とボランティア交流会 2015年6月8日 ■

2015年度けやき総会

6月8日、会員10名と、来賓として井上左京図書館副館 長と村井左京区社協事務局長にお越しいただき、総会を 開催しました。

古川館長挨拶として、「図書館があってよかったと思ってもらえるように、利用しやすい図書館を目指して様々な取り組みを進めたい」と、井上副館長が代読され、村井事務局長からは「20年ぶりの左京区勤務、以前要望していた独立した建物として合同福祉センターができた。図書館ボランティアなど可能な限り応援したい」とご挨拶をいただきました。

その後、2014年度の活動報告、会計報告が承認されました。10年来の懸案であったけやきのホームページを立ち上げることができたこと、「えほんのひろばinきょうと」について工夫・準備し、盛況であったことなど報告がありました。会員が増え、事務局も世代交代ができるといいという要望も出されました。

今年度の活動方針は「全国の図書館のあり方に関わる情報を収集しつつ、京都の図書館が利用者にとって一層素晴らしいものとなるよう、協力・要望活動を行う」をテーマにすることが提案、承認されました。

第11回 図書館懇談会

今年も総会の後、古川館長、夏秋司書をお迎えして図 書館とけやき会員とで懇談する時間を持ちました。

これは、図書館の現状を知り、利用者の要望などもお伝えして意思の疎通を図り、より充実した図書館にしていくために大切な時間です。

昨年(2014年)は休館日が毎週火曜日のみとなり開館時間も午前9時30分と30分早くなった初めての1年でした。 まず、館長からその1年の報告がありました。

- ・年間利用者数は25万7千人(前年比約8%増)
- ・貸出冊数は51万8千冊(前年比約6%増)
- ・予約貸出16万7千冊は大幅増、そのうちインターネット 予約は約14万冊

という様に前年比で全て増えています。つまり、開館時間が増えたことで利用者が分散されたのではない、ということがわかります。この利用状況を正規職員9名(館長、副館長を含む)、臨時職員10名(アルバイトを含む)でこなしているのが現状です。全職員数は前年比1名減となっています。しかも、アルバイトは連続して最長3年間しか雇用できないため、経験を積んだ力のある人が残ることはできないので、より厳しい労働環境になっています。予算は前年度と同額です。

次に昨年1年間の試みの報告がありました。

まず館内では

- •プラスワンコーナーを充実させた。
- ・昔から読み継がれている本で、古くなったり汚れた物は、新しい物に買い替えた。→貸し出しが増えた。
- ティーンズコーナーを常設書架とし、スペースも倍近くにした。

対外的には

・「TEEN'S BOOK LETTER」という冊子を作成し、下鴨中学校へ配布を始めた(今号の特集で詳しい内容を紹介)。すぐ近くの下鴨中学校から始まった図書館と中学校との間での交流が、左京の他の中学校へ広がっていくと良いですね。

けやき会員からは次の要望が出されました。

- ・駐車場がないため雨の日など不便だ。近くのショッピングセンターに返却ボックスを設置してもらえないか。
- →それは難しい。
- ・地震が発生した時に図書館内にいた場合の対処の仕方 (本が落下して危険なので書架から離れるように、など)の 注意書きを貼ってもらえないか。
 - →生命に関わることなので検討してみる。

職員のお二人はその日の休憩時間を懇談会に充ててくださった、貴重な1時間でした。皆が快適に過ごせる、文化

発信基地としての図書館です。私たち利用者も一緒に力を合わせて、より充実した左京図書館にしていきたいと感じました。

そのために利用者ができること。

- ・延滞をしないこと…催促の電話のための経費も掛かり、 職員の仕事も増え、本来の司書としての仕事から外れて しまいます。
- ・できれば開館時間内にカウンターに直接返却すること… 返却ボックスからカウンターへの本の移動は重労働で す。また、これも本来の司書としての仕事から外れてしま います。

京都市図書館は、中央、右京中央、伏見中央、醍醐中

央の4中央図書館と、16の地域館などで構成されています。そして、中央図書館は他の館と比べて予算、職員数 共に多いのが現状です。中央図書館並みの利用者数があり、部門によっては右京中央図書館に次ぐ実績のある左 京図書館です。それを現在の職員数でこなしていくのは 職員の負担が大き過ぎます。利用者にとっても、本来の 司書としての関わりを充分にはして貰えない、というデメ リットにつながります。

京都市図書館分布を考えると分かるように、京都市北部には中央図書館がありません。私達が図書館サービスを充分に受けられるように、左京中央図書館新設の声をあげ続けていきましょう。

第3回 左京図書館ボランティア交流会

図書館懇談会に引き続き、左京図書館ボランティア交流会が開かれました。左京図書館でいろいろな活動をするボランティアが一堂に会しての交流会で、今年で3回目となります。

「けやき」事務局、毎週木曜日午前の「赤ちゃん絵本 ふれあいタイム」、毎月第4土曜日午前の「おたのしみ 会」で活動するボランティア13名の参加がありました。中には最近けやきに入会され、赤ちゃん絵本に興味があ り、木曜日の「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」を2,3 回見学しているが、もっと話を聞きたいと参加の方もおられました。

今回は残念ながら、図書館の募集に応じ図書の書棚へ

の配架や整理等をされているボランティアの方の参加は ありませんでした。次回は是非参加していただきたいと 思います。また井上副館長も同席され、左京図書館にと ってボランティアの協力が大きな力となっており、無く てはならぬものとの嬉しい言葉をいただきました。

参加者は自己紹介の後、それぞれの活動への思い、活動の様子や問題点、今後の課題等を話し合いました。いろいろな立場から意見交換がなされるところに交流会の意義があり、異なるボランティア活動の内容や様子を知ることで、ボランティアの繋がりができるといいなあと思っています。

(以上報告:けやき事務局)

けやきの活動 2015年4月~8月

4/24 ニュースレター47号、総会・図書館懇談会・ボランティア交流会の案内、 活動報告を印刷・発送

6/上旬~ ニュースレター48号原稿作成・編集

6/8 第17回定期総会、第13回図書館懇談会、第2回ボランティア交流会を開催

7/13 京都市教育委員会事務局 生涯学習部 施設運営図書館担当課長に「青い鳥号」について取材

7/14 左京区社会福祉協議会ボランティア連絡会出席(増井・永井)

8/6 ニュースレター48号印刷・発送

8/上旬~「読み聞かせ」交流会に向けて図書館と打ち合わせ、資料作成・印刷

<図書館おたのしみ会に協力> (第4土曜) 5/23.6/27.7/25.

<絵本学習会> (第4金曜日、3.7.9月は第2金曜日) 4/24.5/22.6/26.7/10.

<事務局会議><図書館とのミーティング>(主に第1月曜) 5/11.6/1.7/6.8/6.

< 「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター活動> (毎週木曜日10:30-12:00) 4/30. 5/7.14.21.28. 6/4.11.18.25. 7/2.9.16.23.30. 8/6

お知らせ

図書館友の会けやきの ホームページのアドレス表記を以下 のように変更しました。

http://totomo-keyaki.com

*ホームページではニュースレター のバックナンバーを創刊号から掲 載しています。

*活動の様子や予定をお知らせするブログにもリンクしています。 http://keyakitomo.exblog.jp ぜひご覧ください。

↑ 左京南支部小学校ボランティア 読み聞かせ交流会

第1回 10月2日(金)「えほんたいけん・えほんたんけん」講師中川あゆみさん

第2回 10月9日(金)「やってみよう 読み聞かせ」 講師 左京図書館司書さん

「科学の本のブックトーク」

講師 島崎真紀子さん

第3回 10月13日(火) 小グループに分かれて絵本の読み語り実践交流

*いずれも午前10~12時、左京合同福祉センター3階(左京図書館の上)大会議室にて

*絵本の読み語りを始められたばかりの方も、ベテランの方も楽しく交流しましょう。

*第1回と第2回は左京図書館絵本入門 講座でもあります。標題は同じですが、 毎年内容を刷新しています。他の地域や 小学校以外で活動されている方、活動は していないが絵本に興味関心がある方 も、ぜひご参加下さい。

*事前申し込みは不要です

*問い合せ

京都市左京図書館 075-722-4032

◆図書館友の会 けやき の仲間になりませんか◆

知りたい、調べたい、本の世界を楽しみたい そんな私たちの望みをかなえ、

> 一人一人の世界を豊かにしてくれる場所 それが私たちの願う図書館です

左京図書館が今後もこのような市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。

図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきませんか。

次のような活動をおこなっています

であいの森

左京図書館のおたのしみ会 (毎月第4土曜日11:00) に協力。 絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター

毎週木曜日10:30~12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者を結ぶけやきの活動の情報を発信しています。

事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間や 左京図書館との連絡調整を行っています。

絵本学習会

毎月第4金曜日10:00~。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

◆入会希望の方は、年会費500円をそえ

下記事務局または郵便振込口座にお申し込みください。

事務局 京都市左京区高野東開町1-23 26-101 永井方 TEL/FAX 075-721-2625

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914番 口座名称 図書館友の会 けやき

◎ゆうちょ銀行の口座をお持ちの場合、口座間振替で無料で送金できます。

年会費はニュースレターの印刷および郵送費の一部に充当します。

◆活動費のカンパも歓迎。直接又は上記の振込口座をご利用下さい。

けやき情報版

京都市子ども文庫連絡会主催 連続学習会

「図書館を、知ろう!学ぼう! 行動しよう!」

~日本の図書館について学び、考える <↑>

日本の図書館、今どうなってんの? ~日本の公共図書館の現状を知る

話題提供・資料作成:市庫連

日時:9月29日(火)10~12時

場所:ひとまち交流館京都第1.2会議室

資料費:100円

<2>

図書館って、どんなとこ?

~私たちにとって図書館とは

講師:脇谷邦子氏

(元大阪府立図書館司書)

日時:10月29日(木)10~12時

場所:ひとまち交流館京都第4会議室

<3>

利用者も何かしないとあかんのちゃ う?〜私たち利用者はなにをすべきか

話題提供・資料作成:市庫連日時:11月30日(月)10~12時場所:ひとまち交流館京都第3会議室

*いずれも参加申し込み(**9月1日より**) 及び問い合わせは以下まで

·後藤 Tel/Fax 075-861-9401

・永井

E-mail yakamasi_m@yahoo.co.jp

編集後記 マけやきのホームページにニーンけやきのホームページに売んで頂けるように流んで頂けるように表ってうれしく思うとともに、方に読んで頂けるように表ってうれしく思うとともに、広ってうれしく思うとともに、方に読んで頂けるように表ってうれしく思うとともに、広ってうれしく思うとともに、広ってうれしく思うとともに、広ってうれしく思うとともに、広ってうれしがちな今日この連続学習会が、新たな仲間を得てみなで手が、新たな仲間を得てみなで手が、新たな仲間を得てみなで手が、新たな仲間を得てみなで手が、新たな仲間を得てみなで手が、新たな仲間を得てみなで手が、新たな仲間を得てみなで手が、新たな仲間を得てみなで手が、新たな仲間を得てみなで手が、新たな仲間を得てみなで手が、新たな仲間を得てみなで手が、新たな仲間をといっても、図書館を盛り立てたが、新たな仲間をといっという。

◇けやき 第48号 2015年8月6日

- ◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部 題字:高野のYさん タイトルバック:岩倉のSさん カット:高野のHさん
- ◇発行 図書館友の会 けやき

京都市左京区高野東開町1-23-26-101永井方 TEL/FAX 075-721-2625

http://totomo-keyaki.com